



Japan Association of  
University  
Administrative  
Management

日本の大学を支える全ての方々へ



一般社団法人 大学行政管理学会

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-6-1 九段シルバーパレス203  
TEL/FAX 03(3511)7033

E-mail: [office@juam.jp](mailto:office@juam.jp)

URL: <https://juam.jp/>

## 大学行政管理学会とは

一般社団法人 大学行政管理学会は、プロフェッショナルとしての大学行政管理職員の確立を目指し、「大学行政・管理」の多様な領域を理論的かつ実践的に研究することを通して、全国の大学の横断的な「職員」相互の啓発と研鑽を深めるための専門組織として、1997年1月に大学・短期大学の管理職を対象に発足しました。

現在は、日本の大学を支えるすべての方々に門戸を広げ、教員、職員および大学院生などが意欲的に活動しており、それぞれが自律的かつ高度な専門職業として機能する大学アドミニストレーターとして、わが国の高等教育機関において果たす役割を追求しています。

2支部8地区および13のテーマ別研究会を中心とした研究会活動のほか、学会誌・事務局便りなどを刊行・配信し会員への情報提供を行っています。また、孫福賞および若手研究奨励金制度、自費出版奨励制度を設立し主体的な活動を奨励しています。さらに、英国大学行政職員協会（AUA）、および大学マネジメント研究会と連携・協力関係を結ぶなど、研究団体的側面と職能団体的側面という二面を統一的に追求する多彩な活動を展開しています。

少子・高齢化、グローバル化が進展する社会経済の中、教育立国を目指す我が国において、今後、ますます大学教育の質の向上・保証、社会が求める主体的に問題解決を図る人材の輩出等、大学改革への期待が一層高まっております。

これに応えるために経営改革はもとより、教育・学修支援、研究支援、地域・連携、国際交流等、多彩な機能・領域において専門性、自主性、独創性を有する大学運営に必要な実践を行うことができる人材の育成が強く要請されます。本学会はこれらの活動を通じて、本学会の目的である「大学の行政管理について実践的、理論的に研究し、大学行政管理に携わる人材の育成を通して、大学の発展に寄与すること」、さらには高等教育の発展に寄与することに邁進しています。

## 会長メッセージ

### 未来の大学を支える 「人」と「知恵」をはぐくむJUAM

一般社団法人 大学行政管理学会会長  
杉原 明（学校法人工学院大学）



大学行政管理学会（JUAM）が設立されたのは1997年1月、当時はまだ大学の運営を経営的な視点で語ることが憚られ、「経営が教育・研究に優先するなどとてもない」といわれることも珍しくありませんでした。一方、18歳人口はピークを過ぎて大幅な減少が続き、大学の将来に陰りがみえた時期でもありました。

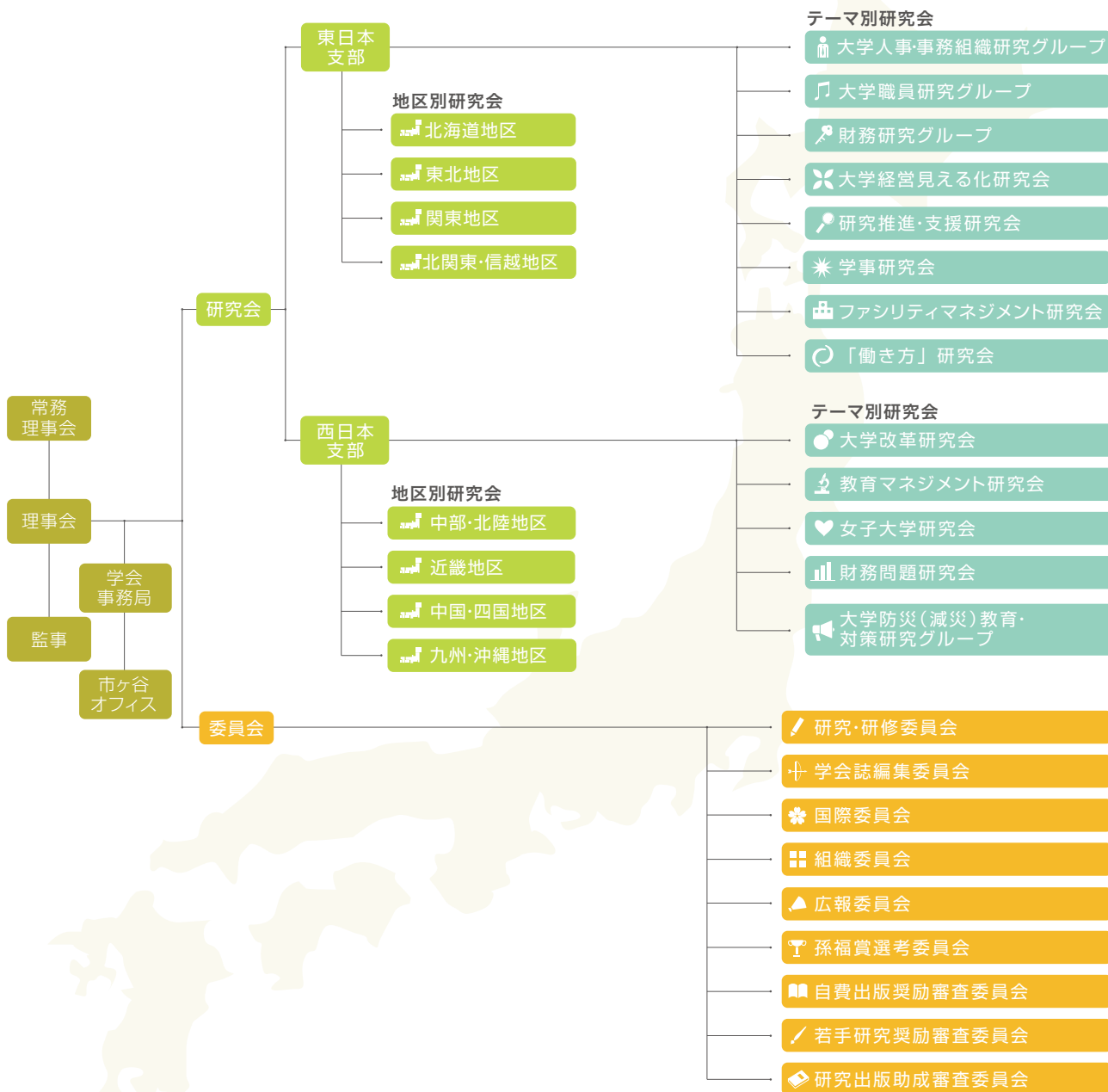
その後30年近くが経過し、大学を取り巻く環境はいつそう厳しくなり、経営的な視点をもった高度な管理運営や、それをリードできる人材が強く求められるようになりました。

大学職員は、教員と違って、直接的に教育や研究を行うというミッションがない代わりに、組織の管理・運営への貢献が強く求められています。そのためには、より専門的で時代に即した知識やスキルのほか、柔軟な思考力や学内外での折衝力など、さまざまな能力が必要です。そしてそれらの能力の維持向上のため、生涯学び続けることの重要性も増しています。

本学会では、大学の管理・運営の高度化やそれを支える人材育成を目的に、さまざまな活動が行われています。年一回発行の学会誌には、論文に限らず、各大学等における事例研究等が数多く掲載されています。毎年9月に開催している研究集会は、研究発表や事例研究発表のほか、ワークショップや懇親会を通じての情報共有や人的ネットワークの構築も重要な目的としています。また、年間を通して、地区別研究会やテーマ別研究会による活動も盛んに行われています。近年はオンラインによるイベントも増え、地域を超えた活動も活発になっています。JUAMは未来の大学を支える「人」と「知恵」をはぐくむ活動を続けています。

会員同士がそれぞれの立場を超えて、ともに学び、交流し、研鑽しながら、個人の成長と大学の発展に寄与する、これが本学会の原点です。北海道から沖縄まで、新人から大先輩まで、約1,150名（2023年7月現在）が会員として活動しています。未知の経験との出会いを求めて、みなさまもJUAMの輪に加わりませんか。ご加入を心よりお待ちしております。

# 組織図



# 地区別研究会、テーマ別研究会・グループへのお誘い

## 地区別研究会

東日本支部

### 北海道地区研究会

北海道地区における大学職員のSD活動を目的とし、地区研究会のほか、中堅・若手職員向けの勉強会を開催しています。大学業界を取り巻く諸課題や中堅・若手職員の育成に関するテーマを中心に、参加者が問題意識や問題解決の方向などを共有できるよう取り組んでいます。研究会後は情報交換の場を設定し、所属を越えたネットワーク作りや交流を深める機会としていますので、非会員、他地区の方も気軽にご参加ください。

### 東北地区研究会

東北地区の大学に勤務する会員による研究発表や各大学の事例報告を行いながら、大学職員相互の“学びと励まし”のネットワークとして、会員相互に研鑽と交流を深める機会としています。原則年2回の研究会と中堅・若手勉強会を中心に、主として東北学院大学で開催しております。東北地区の会員を前提としていますが、どなたでも歓迎いたします。

### 関東地区研究会

関東地区研究会では研究活動テーマを限定せず、幅広く学会員に提供できるような研究テーマで年3～5回（不定期）、東京都内の大学会議室等を中心に使用して開催しております。

講演会、ワークショップの形式で開催し、交流や情報交換の場を広げることを目的としています。参加資格、条件は特ありません。非会員の方も是非ご参加ください。

### 北関東・信越地区研究会

高等教育、また大学職員を取り巻く諸課題を取り上げ、他研究会との合同開催も取り入れながら、年に2回程度、勉強会・研究会を開催しています。

この地区は小規模な大学がほとんどなので、いかにして個性を発揮するか、また、大学職員の相互啓発と実務家としての研鑽に関して、取り組んでいます。

研究会等へはどなたでも参加できます。皆さまのお越しをお待ちしております。

西日本支部

### 中部・北陸地区研究会

本研究会では、大学を取り巻く教育・研究、管理・運営などの様々なテーマに対して課題を設定し、若手・中堅職員の育成も念頭に置き、研究会を年に数回実施しています。また、研究会の実施にあたっては、内容に応じてオンライン方式も取り入れています。対面方式のみ、もしくは両方式を併用する場合は、東海並びに北陸のエリア特性なども考慮の上で実施していますので、地区や非会員を問わず、全国から多くの皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

### 近畿地区研究会

近畿地区研究会では、西日本支部のテーマ別研究会等と連携しながら、適宜のテーマにより、年3回程度の研究会を開催します。

昨今は高等教育を取り巻く環境変化が著しく、大学教育の質的向上を図る上で考えなければならないテーマがたくさんあります。大学の戦略的経営、高等教育政策、SD、大学のガバナンス、国際化などについて、主にワークショップ形式で開催しています。

### 中国・四国地区研究会

本研究会では、年間3～4回程度の研究会を開催しています。大学教職員なら誰もが関心をもつテーマをはじめ、若手・中堅職員対象のテーマなどを取り上げ、多彩な研究会を開催しています。中国・四国地区の学会員はもとより、他地区の学会員、さらにこれから学会への入会を考えている方々も多数、参加しています。また、地域のコンソーシアム団体等とも協力し、大学教職員の資質向上に取り組んでいます。

### 九州・沖縄地区研究会

本地区研究会は「大学行政・管理」全般にわたり会員相互の啓発と研鑽を深めるため、年4回の研究会のほか、若手・中堅職員勉強会を実施しています。外部講師による講演や会員発表のほか、ワークショップ、研究会後の情報交換会等での相互研鑽とネットワークづくりにより、所属大学のみならず広く地域の大学発展に貢献したいと考えています。地区以外、会員以外の参加も歓迎します。

## テーマ別研究会

東日本支部

### 大学人事・事務組織研究グループ

「大学人事」研究グループと「大学事務組織研究会」を統合して発足した当研究会では、これまでに積み上げた研究を継承しつつ、新しい大学人事と事務組織の在り方について理論と実務を融合しながら考察を深めていきます。研究会は年に4回程度開催し、事例研究や講演に加え、情報共有やワークの実施などを組み合わせた参加型の研究会として活動しています。人事担当者の方はもちろん、人事担当でない方も、大学で働く当事者として、より良い人事や組織について一緒に考えていきましょう。ご参加をお待ちしております。

### 大学職員研究グループ

職員の実践力を持った専門職としてのあり方を研究し、同時に会員自身の自己研鑽を支援することを目的に1999年1月発足しました。研究成果として、「大学職員—その属性」(2001年)、職員に関する各種調査報告(学会誌7・9・10号)、「大学職員の専門性」を検討する領域の一つとして、大学アドミニストレーターの領域や必要な能力についての概念的な枠組みを、プロフェッショナルである大学アドミニストレーターの専門性—個人的能力のキャリアパス(リーフレット)で示しました(2007年)。また、大学職員の労働生産性の向上を視野に入れたSDやJob Descriptionのプログラムの実例検討(2008年から現在)があります。

### 財務研究グループ

学校法人の会計制度・財務構造・財務戦略にテーマを絞って、より具体的・実践的に研究活動を進め、実際に研究成果をアウトプットしていくことを目指しています。原則として4月8月をのぞく毎月第3木曜日に研究会を開催しています。研究結果の成果を踏まえて、2006年9月には『大学財務研究』、2011年3月には『これならわかる!学校会計』の2冊の書籍を発行しました。後者については、学校法人会計基準の改正に対応して、これまで2度の改訂を行っています。

### 大学経営見える化研究会

本研究会は、2002年の設立時より、大学経営課題の見える化を目指し、大学経営の質向上に資する研究テーマに取り組んできました。(一社)日本能率協会とともに研究開発した『大学経営評価指標』は多くの大学に導入されており、2023年現在、これまでの研究成果を踏まえ、『私立大学 新任理事・評議員ハンドブック(仮称)』の刊行準備を進めています。今後も「見える化」の枠組みから時事的な研究テーマに取り組む予定ですので、興味のある方のご参加をお待ちしております(原則として月1回、土曜日開催)。

### 研究推進・支援研究会

研究推進・支援に携わる職員の専門性と役割、戦略的対応について研究・議論することで、業務に関する見識を深め、個人の資質向上に寄与することを目的としています。主として、外部研究資金の獲得・執行、コンプライアンスに関する業務、リスクマネジメント、成果取扱いに関する契約及び知財マネジメント等の今日的なテーマについて、発表・講演会等を企画しています。参加者の意見交流を通じて、研究推進・支援の業務の課題や実務上の問題点等について、探求しています。

なお、開催ペースは年3~4回、土曜日開催を原則としております。多くの大学関係者のご参加をお待ちしています。

### 学事研究会

「大学行政の中心に学生をおき、コアとなる学生に関連するアドミニストレーター機能の発展に資する」ことを目的とした研究会です。大学における学事、学事におけるアドミニストレーターの機能・役割について、幅広く追究しています。研究会は主として首都圏の大学で開催しています。参加資格は特に問いません。

### ファシリティマネジメント研究会

キャンパス、施設、設備等における「ファシリティマネジメント」の考え方について研究活動を行っています。事例研究として、大学施設の設計概要の紹介や見学会の開催などを、関東圏の大学を中心に不定期ですが開催しております。施設関係の担当者だけでなく、学務及び学生担当者など、どなたでも参加可能です。

### 「働き方」研究会

本研究会は、大学職員の「働き方」を研究テーマとし、その実態を、「共通性」「多様性」の2つの観点から調査・分析するため、2023年に新設されました。研究活動には Slack や Zoom を最大限活用することで、居住地域を超えて多様なメンバーが集い、お互いの活動を助け合えるように心がけています。特に、研究活動には興味があるものの、具体的に何から始めてよいかわからない若手職員や、既存のコミュニティでは少数派である女性・地方在住者に対しては、積極的なサポートを提供したいと考えています。ご興味お持ちの方は、お気軽にご連絡ください。

## 📌 大学改革研究会

「大学職員間の相互支援-支え合いから生まれる次世代の大学運営-」を活動テーマとしています。大学職員一人ひとりの専門性の強化が求められている昨今、若手・中堅層の大学職員が自律した大学アドミニストレーターとして成長する機会を提供すべく、2～3カ月に1回程度の頻度でワークショップを開催しています。どなたでも参加可能です。

## 📌 教育マネジメント研究会

学生の「多様化」に対応した「教育力の強化」、教育体系のマネジメントのための普遍的手法の開発等を課題に取り組んでいます。学生の主体的な学びを促進するための実践のなかで、教育とマネジメントを関連づけた理論と実践の架橋、あるいはこれらを往来する研究を通して、現場の課題に迫ることを目指しています。公開研究会の企画、また、研究会メンバー内で意見、情報の交換を行っています。

## 💖 女子大学研究会

近年、女子大学の共学化が進んでいます。本研究会は、女子大学を取り巻く環境変化を多方面から分析し、女子大学（教育）の現代的意義や優位性を探求しながら、女子大学全体の活性化と連携強化を目指します。年2回程度、関西を中心に各地区で開催。女性の高等教育史、現在の教育内容、経営・改革、海外の女子大学（教育）などのテーマを設定して研究しています。

## 🏢 財務問題研究会

【目的】 大学を継続して成長させていくために欠かさない財務を主軸に、大学経営や財務に関連する研究、知識・情報の共有、参加者間の情報交換を通じて大学界全体並びに参加者の所属校の発展に寄与することを目的としています。

【活動内容】 本会では、補助金施策や業務効率化など財務に関わる最新のトピックやトレンドに関するセミナーやワークショップを開催するとともに、参加者個々が持つ情報・知識・経験の共有による自学の業務改善や大学間のコラボレーションを生み出すきっかけづくりの機会を作っています。VUCAの時代の大学経営において財務の知識は必要不可欠なものです。経理・財務部門に所属していない方も大歓迎です。「大学経営」という視点でぜひご参加ください。

## 📌 大学防災（減災）教育・対策研究グループ

本研究グループは、防災・減災の“意識と知識”を有した発災時から活動できる人材の育成（教職員・学生共々）は、日本の大学が担う重要な使命の一つであるとの考えから、以下のテーマを軸に活動を行います。

- ① 「防災（減災）教育の開発・啓蒙に関すること」
- ② 「防災（減災）に関するマネジメント（危機管理）」
- ③ 「防災リーダー養成に関すること」

上記の研究成果から防災・減災に関する総合的なアーカイブの構築も目指します。皆様方からのご指導・ご教示をお待ち申し上げます。

## 委員会活動

### 📌 研究・研修委員会

- ① 定期総会・研究集会の企画・運営
- ② 地区別・テーマ別研究会の運営支援
- ③ 若手研究奨励に係る公募、及び候補者の審査等
- ④ その他、学会としての研究・研修に係る企画等

### ✚ 学会誌編集委員会

- ① 一般投稿の募集、査読および修正依頼、原稿種類の決定
- ② 巻頭言、総会講演、分科会、孫福賞、JUAM奨励賞、若手研究奨励報告、海外派遣報告等に係る各種原稿の依頼・受付
- ③ 著者校正、原稿配列、レイアウト、印刷、製本、発送等に必要業務の委託、ならびに最終校正および連絡調整
- ④ 学会誌規程、執筆要領、査読等のルール整備

### 🌸 国際委員会

- ① 海外の大学行政管理の専門家組織との連携の促進
- ② 海外における大学行政管理の現状と課題についての情報収集
- ③ 英国 AUA (Association of University Administrators) 総会への会員派遣
- ④ 若手海外派遣事業 - 海外大学調査研修 - (※ 2018 年度実施)

### 🏠 組織委員会

- ① 自己点検・評価への取り組み
- ② 各地区など支部設置と運営ルールの明確化
- ③ 各委員会の役割分担と運営ルールの明確化
- ④ 学会内組織体制の検討

### 📌 広報委員会

- ① ホームページの充実、データベースの活性化

### 🏆 孫福賞選考委員会

- ① 孫福賞授与者の選考

### 📖 自費出版奨励審査委員会

- ① 自費出版奨励金の交付者審査

### 📌 若手研究奨励審査委員会

- ① 若手研究奨励の審査

### 📖 研究出版助成審査委員会

- ① 研究出版助成の審査

## 表彰・奨励

### ▶ 孫福賞

本会初代会長 故・孫福 弘の功績を顕彰し、会員の特に優れた研究・実践業績を表彰するために2006年より設けられています。

### ▶ JUAM 奨励賞

本会における正会員の特に顕著な活動および本会事業への貢献を表彰するため2016年に設けられました。

### ▶ 自費出版奨励

大学行政管理の分野に関する論理的研究又は実践の経験をもとにした「自費出版」を行うとする正会員を助成します。

### ▶ 若手研究奨励

若手の会員（39歳以下の個人またはグループ）の研究活動を奨励し、学会の研究活動の活性化と研究水準の向上を図ることを目的として2006年より設けられています。

## 会員への定期的なお知らせ

- ・各研究会開催のお知らせをメールで配信します。
- ・ホームページ上で「会員リレーコラム」を掲載しています。
- ・『学会誌』（年1回発行）を送付します。

## 入会後の活躍の場

### ▶ 研究会・委員会への参加

参加ご希望の方は、ホームページのお問い合わせフォームより事務局までご連絡ください。

### ▶ 定期総会・研究集会への参加、研究発表

例年9月上旬の土・日曜に開催。基調講演、ワークショップ、研究発表等を行っています。

### ▶ 学会誌への投稿

事例報告から学術的論文に至るまで、幅広く論稿を募集、査読を経て掲載されます。

## 会員専用ページのご紹介

### ▶ 研究データベース

地区研究会、テーマ別研究会及び定期総会・研究集会の発表資料を収録。キーワード検索及びダウンロードが可能です。

### ▶ 事務局便り

常務理事会・理事会・研究会開催報告等を掲載。過去の開催状況も閲覧できます。

### ▶ 共有ドライブ

過去の会報・学会誌、定期総会資料、最新の会員名簿の閲覧が可能。

## 学会のあゆみ

1997年1月 発足

1997年1月 設立記念講演（於：慶應義塾大学）

## 定期総会・研究集会

- |      |          |                    |
|------|----------|--------------------|
| 第1回  | 1997年度開催 | (9月6・7日 於：法政大学)    |
| 第2回  | 1998年度開催 | (9月5・6日 於：龍谷大学)    |
| 第3回  | 1999年度開催 | (9月4・5日 於：明治大学)    |
| 第4回  | 2000年度開催 | (9月2・3日 於：早稲田大学)   |
| 第5回  | 2001年度開催 | (9月1・2日 於：名城大学)    |
| 第6回  | 2002年度開催 | (9月7・8日 於：神奈川大学)   |
| 第7回  | 2003年度開催 | (9月6・7日 於：広島修道大学)  |
| 第8回  | 2004年度開催 | (9月4・5日 於：東洋大学)    |
| 第9回  | 2005年度開催 | (9月3・4日 於：札幌大学)    |
| 第10回 | 2006年度開催 | (9月1～3日 於：青山学院大学)  |
| 第11回 | 2007年度開催 | (9月8・9日 於：福岡大学)    |
| 第12回 | 2008年度開催 | (9月6・7日 於：日本大学)    |
| 第13回 | 2009年度開催 | (9月5・6日 於：立命館大学)   |
| 第14回 | 2010年度開催 | (9月4・5日 於：國學院大學)   |
| 第15回 | 2011年度開催 | (9月3・4日 於：金城大学)    |
| 第16回 | 2012年度開催 | (9月8・9日 於：芝浦工業大学)  |
| 第17回 | 2013年度開催 | (9月7・8日 於：東京電機大学)  |
| 第18回 | 2014年度開催 | (9月6・7日 於：東北学院大学)  |
| 第19回 | 2015年度開催 | (9月5・6日 於：関西大学)    |
| 第20回 | 2016年度開催 | (9月9～11日 於：慶應義塾大学) |
| 第21回 | 2017年度開催 | (9月2・3日 於：西南学院大学)  |
| 第22回 | 2018年度開催 | (9月1・2日 於：桜美林大学)   |
| 第23回 | 2019年度開催 | (9月7・8日 於：実践女子大学)  |
| 第24回 | 2020年度開催 | (9月5日 於：國學院大學〔※〕)  |
- 〔※新型コロナウイルス感染予防のため研究集会は中止。  
代替イベント「オンラインによる研究・実践交流会」を実施〕
- |      |          |                   |
|------|----------|-------------------|
| 第25回 | 2021年度開催 | (9月4・5日 於：神戸学院大学) |
| 第26回 | 2022年度開催 | (9月3・4日 於：成蹊大学)   |
| 第27回 | 2023年度開催 | (9月2・3日 於：文教大学)   |

## 会員の声



### 「頼れるネットワーク」

札幌市立大学 五十嵐 茉莉子

研究支援業務に携わるようになってから、いつか自分自身も研究にチャレンジしたいという気持ちを抱くようになり、当時の上司に相談したところ「それなら大学行政管理学会に若手研究奨励があるから入会してみたら」と勧められました。

それ以前にも、大学行政管理学会北海道支部主催の研究会や勉強会に非会員として参加したことが何度かあり、たくさん学びを得られる場だと実感していました。

若手研究奨励は39歳以下の会員が対象で、10万円を上限として奨励金を受けられると知り、善は急げとすぐ入会申し込みを送りました。

そして「ボトムアップ型DXを目指す大学職員向けプログラミング学習コミュニティの構築とその有効性検討」という研究テーマで2021年度若手研究奨励に採択していただき、大学事務局職員向けDX学習コミュニティ「codemp（こでんぷ）」を立ち上げることができました。

コミュニティ設立時に大学行政管理学会のメーリングリストでも周知させていただいたところ、すぐに参加希望の連絡が全国各地から届き、反応の良さに驚きました。

日々の業務に取り組む中で、横のつながりがほしいと思う場面は多々あるかと思いますが、大学行政管理学会はそんな時に頼れるネットワークです。若手研究奨励に取り組んでいる間も、たくさんの方々がご助言くださいました。

大学職員として学びを深めたいという気持ちが生まれたら、ぜひ頼ってみてください。

### 「JUAMの楽しみかた」

明治学院大学 天野 愛子

大学職員になって数年経った頃、「大学職員としてぶれない判断軸がほしい」と思い、JUAMに入会しました。当初は、会員の皆さんの研究発表をお聞きしても、一緒に活動する際に積極的に意見を出している様子を見ても圧倒され、こんなに優秀な職員が全国にこんなにも多くいるのか、と驚きました。

それから20年近くが経ち、最初に求めていた判断軸はある程度身に付いたかな、と思いますが、素晴らしい出会いは今でも多くあり、そのたびに驚き、刺激を受けています。

JUAMの中での活動としては、学事研究会やSDプログラム

検討委員会に携わり、今は、大学人事・事務組織研究グループの共同代表をさせていただいています。

活動をする中で強く思うのは、思い切って飛び込む方が断然面白い！ということです。仕事や家庭の状況で、思うように活動時間が取れないときもありますが、可能なときは、どこかの研究会か委員会の中で思いぎり活動してみると、同じように活動する仲間に出会い、戦友ができたり、所属大学の中でも同志が見つかったりと、世界が広がり、職員ライフが充実します。大人になってから全国に友達ができることは、とても素敵で得難いことだと思います。

そして、活動の中で自分が得た学びや気づきを所属大学に持ち帰りシェアすること、所属大学で得たものをJUAMでシェアすること、その繰り返しの中で、所属大学も、大学業界全体も良い方向に進めることができていると思っています。

JUAMの良さは体験したものの勝ちです。ぜひ一緒に満喫しましょう。

### 「“地方”で学ぶということ」

広島修道大学 木村 太祐

広島修道大学に転職したばかりの私は、自らの大学職員人生、定年まで安泰に続くのかという大きな疑問があった。少子化が進み、今の大学数を維持し続けることはできない事実がある中で、漠然とした危機を耳にするのみで、どこに問題が所在し、根本的に何をどのように解決することが得策なのか全くみえていなかった。この疑問を解決するために……という大げさだが、高等教育にかかる知識や情報をとにかく得ようと入会した。

所属する中国・四国地区研究会を中心に可能な限り多くの研究会に参加し、今は自地区研究会の企画にもかかわっている。他地区研究会に参加し、自地区研究会の企画にかかわるようになって、中国・四国地区といういわゆる“地方”ならではの問題がみえてきた。それは、都市部と地方では得られる情報や学ぶ意識に格差があり、研究会に参加するためにも物理的格差があるということである。

これは、地方の高校生が大学進学を目指しにくいという現実に近い話なのかもしれない。要は地方にいる私たちが、高等教育における問題や危機などの情報を的確にキャッチし、学ぶ目的や目指すべき姿に自らを繋げることができるかどうかである。手元のスマートフォンで世界とつながり、コロナ禍でオンラインが常態化した今でもなお、この格差は埋まっていない。環境の現実を知り、それにいかに適応するかが生き残る術であろうし、それに気づかせてくれるのは“仲間”の存在であると私は思う。



## 入会の申し込み

### 入会資格

- ① 正会員 本会の目的に賛同される大学・短期大学・高等専門学校を設置する法人又は地方公共団体の職員・教員・役員、大学関係団体の職員
- ② 賛助会員 本会の目的に賛同し、本会の事業を賛同しようとする個人又は団体
- ③ エルダー会員 継続在籍期間が3年を超える正会員が所属する法人または地方団体を退職後、引き続き本会の目的に賛同する者
- ④ 学生会員 主たる身分が学生である者

### 年会費（7月～6月）

- ① 正会員 ……………10,000円
- ② 賛助会員 個人：10,000円（一口）以上  
団体：50,000円（一口）以上（3名まで登録可）
- ③ エルダー会員 ……………5,000円
- ④ 学生会員 ……………5,000円

賛助会員又は学生会員でご入会を希望される場合は、正会員1名の推薦者を明記のうえ、学会ホームページ入会申し込みフォームよりお申し込みください。

### ※大学行政管理学会事務局へのご案内

JR、地下鉄（有楽町線、南北線、新宿線）：「市ヶ谷駅」下車徒歩5分

JR：市ヶ谷駅を出て、靖国通りを直進

地下鉄：A3の地上出口から、右方向へ

